

第2回鶴岡公園環境整備懇談会 桜等樹木の更新計画について

令和2年12月16日

鶴岡市都市計画課

鶴岡公園桜等樹木更新計画の実施プラン

(1) 将来像(目標)の設定

短期的作業で補植を行うにしても、その品種が確定していないことや公園全体のゾーニング(品種・配置が未設定であることから、公園樹木の将来像(目標)の設定を行います。

(2) 作業項目の具体化

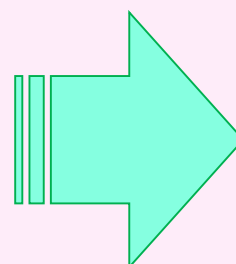
方針で定められた各項目について、実現可能な作業時期や場所、実施者及び手法等を記載し、具体化を行います。

計画構成のイメージ

昨年度取りまとめた更新計画に下記の項目を追加して作成します。

○これまでの計画構成

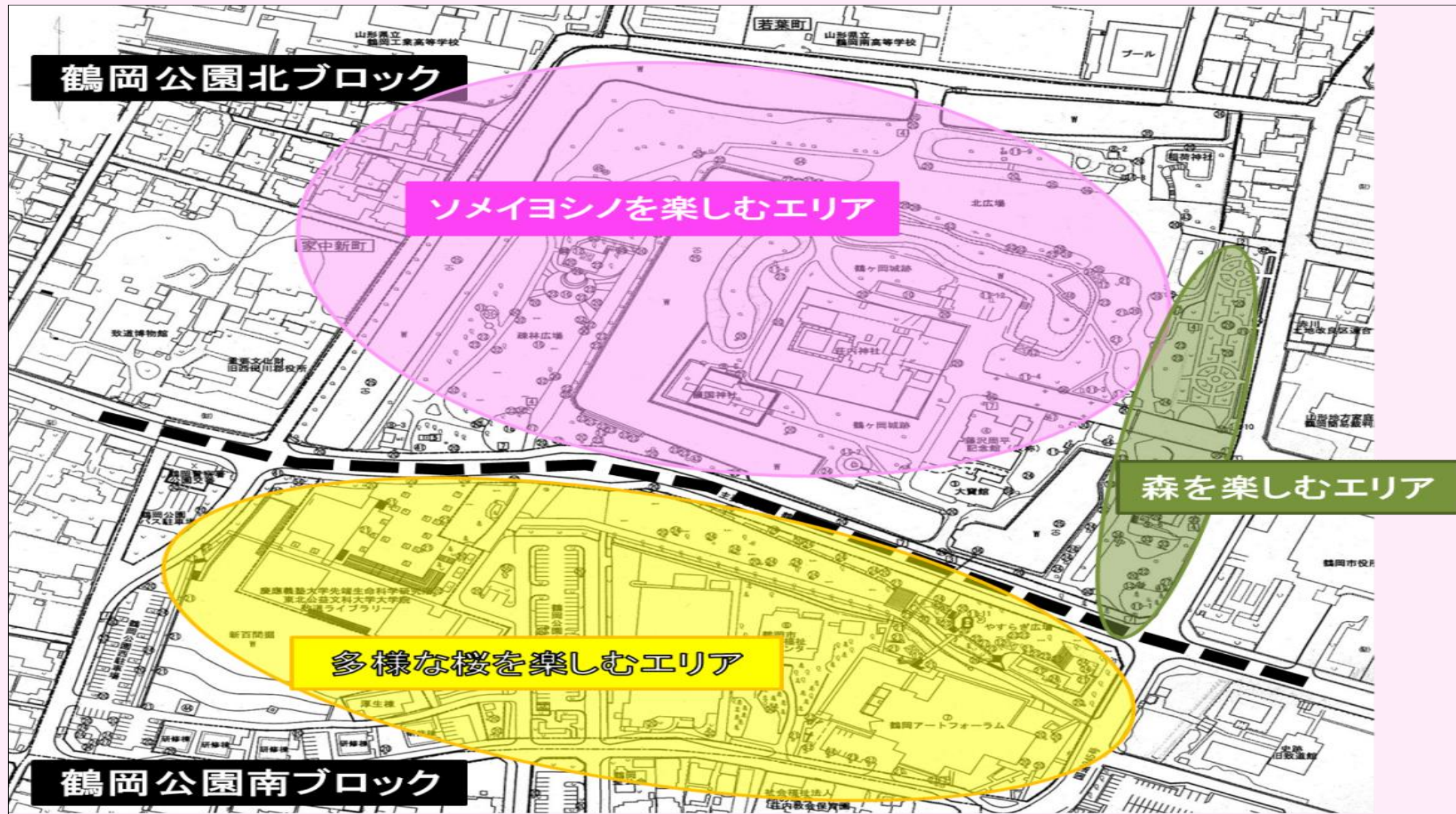
- 第1章 計画の概要
- 第2章 桜調査結果
- 第3章 鶴岡公園の桜等更新方針
- 第4章 今後の予定



○今年度作成計画構成案

- 第1章 計画の概要
- 第2章 桜調査結果
- 第3章 鶴岡公園の桜等更新方針
- 第4章 将来像の検討**
- 第5章 実施計画**
- 第6章 今後の予定

全体のゾーニングイメージ



公園樹木ゾーニングイメージ

北ブロック

ソメイヨシノを楽しむエリア

新樹やカリン、ベニカエデ等90種以上の樹木が
連ねる現在の市民の森エリアを森を楽しむエリ
アとする

南ブロック

既存の樹木を保存しつつ、寄付等による植樹を
基本とした多様な桜を楽しむエリアとする

将来像について

基本的な考え方

鶴岡公園の桜のイメージとして市民からの印象の強い「ソメイヨシノ」をメインとした公園とし、既存のソメイヨシノを保全しながら、調査により老木化等により、倒木等の危険性が高いと判断された桜は伐採を行い、植え替えの際は植栽間隔を確保しながら行う。

①樹種選定

現在の桜並木の景観を保持していくため、植替え樹種についてもソメイヨシノを基本として選定するが、現状の植栽間隔が狭く、間隔の確保が難しい場合は、類似品種のコシノヒガンなどの比較的中型の樹種も選定の対象としていく。

(図1)

②植栽間隔

現況は植栽間隔が近いことから、隣同士の枝が密接しており、樹勢に影響することもある。また、危険木等の伐採をした場合、同箇所に補植しても植栽間隔が近く若木の成長に影響がある場合は、植栽間隔が概ね8m以上になるよう調整しながら実施する。(図2)

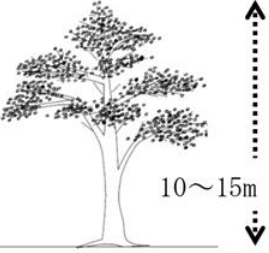


規格	大型	中型	
	横広型	横広型	斜上型
規格	 10~15m	 5~10m	
品種 (開花時期)	・エドヒガン (早咲き) ・ソメイヨシノ (4月上旬)	・ヤエザクラ (遅咲き)	・コシノヒガン (早咲き)

図1 桜のグループ分け

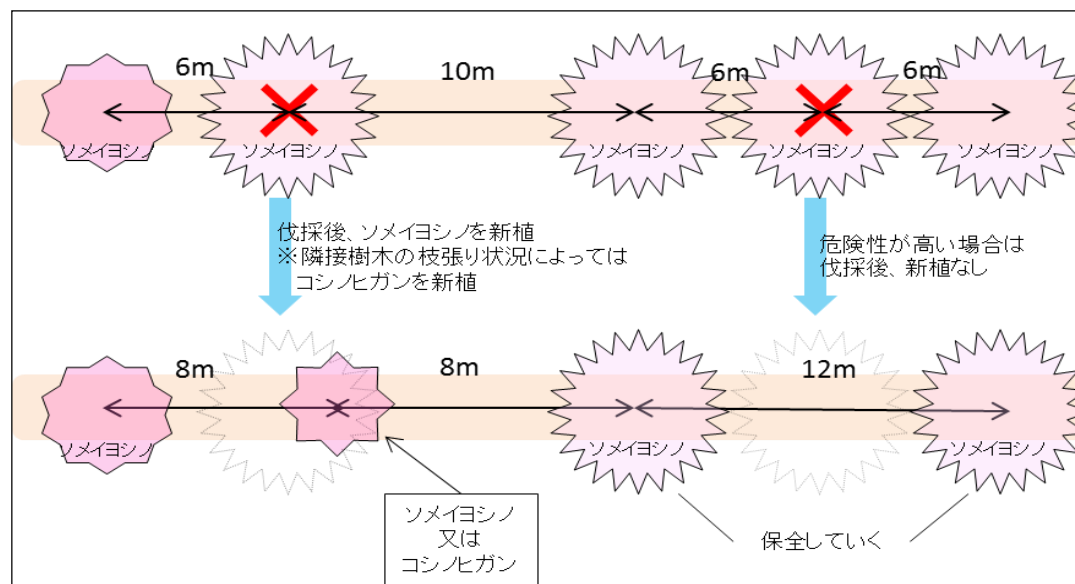


図2 植栽間隔のイメージ

□鶴岡公園桜等樹木更新計画について



老木化と思われる倒木
左8月 右10月



護国神社前 紅葉 根腐れによる倒木の危険性→伐採済



根腐れ



その他の倒木・枝折れ等

内堀
桜幹折れ1本(5月)

ニセアカシア
倒木1本他にも倒木の危険性があるため伐採
伐採:計2本

柳幹折れ1本(R1.12)



イチョウ倒木 7月 長小屋裏

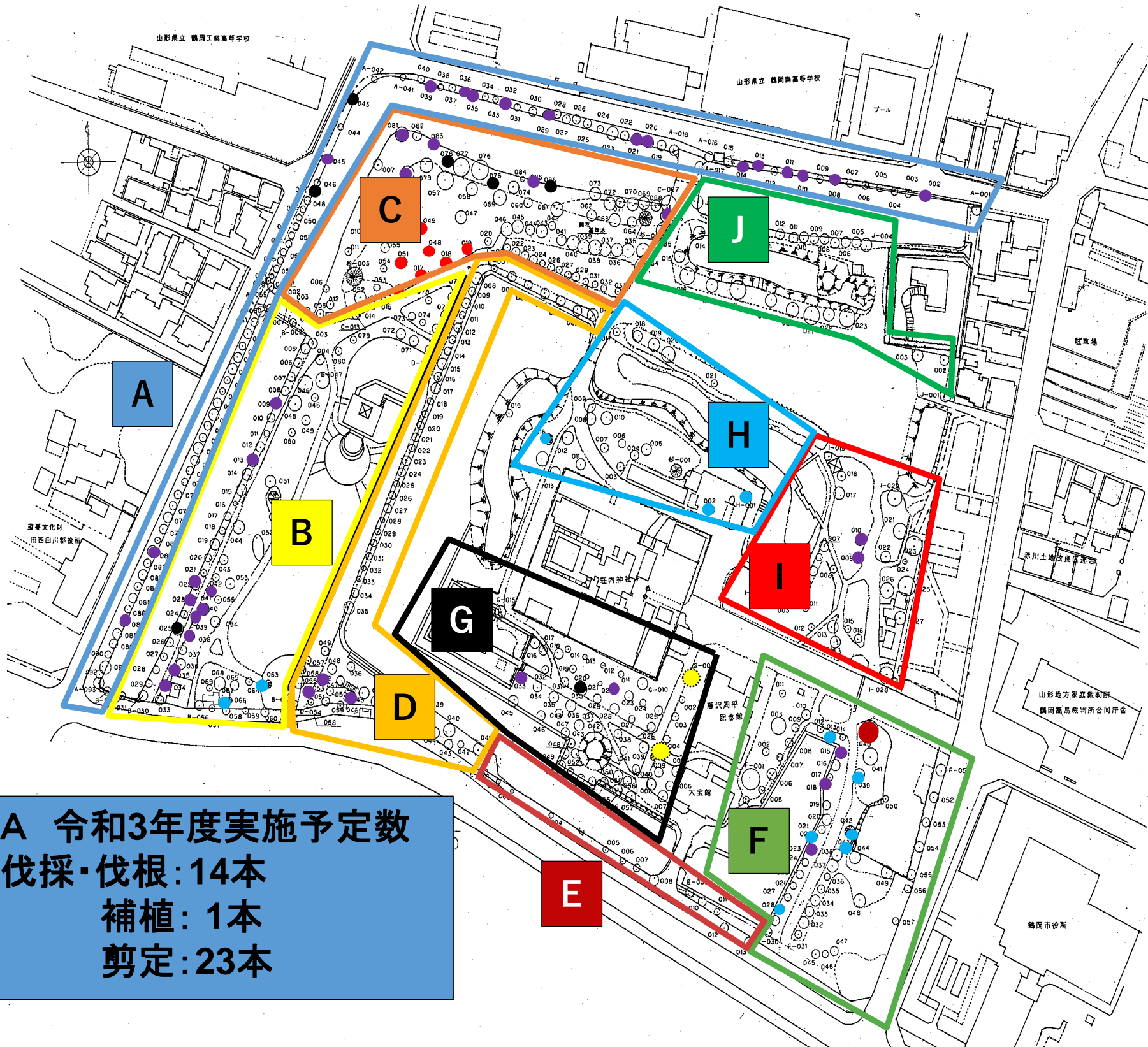
樹皮の剥がれ



◇鶴岡公園桜等樹木更新計画について

協議事項

■年度別実施予定範囲図



品 種	本数	表示
ソメイヨシノ	500	○
シダレザクラ	11	●
ヤエザクラ	8	●
オオヤマザクラ	2	●
エドヒガンザクラ	1	●
計	522	

総合判定	本数	表示
A	160	○
B1	314	○
B2	41	●
C	7	●
計	522	

- A 令和3年度
- F 令和4年度
- B 令和5年度
- D 令和6年度
- E 令和7年度
- G 令和8年度
- C 令和9年度
- H 令和10年度
- I 令和11年度
- J 令和12年度

鶴岡公園桜等樹木更新計画について

R3年度予定

R3施工エリア
(予定)



- ⊗ 伐採・伐根: 14本
 - 剪定: 23本(赤枠内)
 - 補植: 1本
- それぞれ実施予定

桜の品種

品種	本数	表示
ソメイヨシノ	500	○
シダレザクラ	11	●
ヤエザクラ	8	●
オオヤマザクラ	2	●
エドヒガンザクラ	1	●
計	522	

調査結果

総合判定	本数	表示
A(健全か健全に近い)	160	○
B1(注意すべき被害がある)	314	○
B2(著しい被害がある)	41	●
C(不健全)	7	●
計	522	

□鶴岡公園桜等樹木更新計画について

具体的な作業について

短期的作業

H30の樹木調査でB2(著しい被害がある 41本)
C(不健全 7本)

伐採・補植を実施

実施時期→鶴岡公園周辺道路修景整備工事
鶴岡公園正面広場整備工事
上記2工事に併せても実施予定

中期的作業

萌芽更新(ヒコバエの除去・育成、不定根誘導)

長期的作業

品種転換 ソメイヨシノを基本として更新していく
がエリア、植栽位置によっては他品種への変換
を実施していく

年間の維持管理作業

病害虫予防

薬剤散布 切除

膏薬病・キノコ(木材腐朽菌)対策

発生樹木の被害規模や景観上にも配慮し、専門
家の意見を聞きながら被害箇所を除去を実施

胴吹き・ヒコバエの除去

徒長枝やヒコバエ、胴吹き等の発生による樹形の
乱れや枝枯れの発生、また腐朽につながる可能性
もあることから除去を実施

剪定

樹形の保持や日照、風通しを良くするとともに切
除部分から腐朽菌が入らないように切り口への保
護剤の塗布を実施